

(活動報告書様式)

団体名	美しい山形・最上川フォーラム		
事業名	参加体験型ごみゼロアクション 「見て、触って、拾って、考える GOMIの今とこれから」		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型) 【テーマ：テルス(株)川と海をつなぐ 美しい元気な山形づくり事業】		
団体の 所在市町村	山形市	事業費	578,580円
		うち助成金額	450,000円



## ■事業目的

海岸漂着物問題は、陸域からのごみの流出が多いことに加え、最近ではマイクロプラスチックがクローズアップされています。身近なごみの状況や生態系に与える影響等を実際に触れて体験してもらう事業を内陸域で実施し、環境について考えるきっかけづくりと、子どもから大人まで幅広い世代が関心を持つことによって継続的な活動につなげるため、この事業を提案しました。

## ■実施内容

①マイクロプラスチックの根城を知り、考える紙芝居の作成  
実施期間：7～12月  
現状視察 参加者：6名  
検討会 参加者 延べ16名  
ワークショップ 参加者6名

②河川ごみゼロ運動啓発パネル、海と川のごみ標本展示、海岸漂着物の紙芝居上演、水辺の健康診断、美しいやまがたクリーンアップキャンペーンの結果から見る山形のごみの現状、展示、資料配布。

③庄内海岸のジオラマを使用した「触って感じるごみの現状体験会」実施。

④②③の展示、体験を合わせた参加型アクション「拾ってみよう身近なごみ」開催。

実施期間：9～1月

実施場所：白鷹町2回、山形市、飯豊町、長井市

来場者数：156名

回収体験や海岸漂着物問題啓発物の貸し出し、出張講座等を行っています。

◆ホームページ

<http://www.mogamigawa.gr.jp>

## ■事業の成果及び今後の展望

### ①事業の成果

回収体験を通して家族や周りの人と会話を持つきっかけを作ることができました。データや標本、パネル等を使用し、身近なごみ削減から世界のごみの状況まで発展させてイメージしてもらうことができ、特に子どもを持つ父兄の方、お子さんの関心が高く、啓発物を授業や学年行事等で活用したいとの声がありました。

### ②今後の展望

継続的な活動につなげるためのツールとして、学校や地域、企業等の講座やイベント、活動の際の制作物の活用を働きかけていきます。